

令和元年度名古屋市教育委員会請願第1号

請願審査について

2020年度用小学校教科用図書採択事務に関する請願書

請願者

子どもたちに「戦争を肯定する教科書」を渡さない市民の会

(愛知 教科書市民の会)

要旨

- 1 小学校教員全員に、教科書展示会場で見本本を十分に調査研究できる時間を保障すること
- 2 教科書採択会議の傍聴者制限を廃止し、希望者が全員傍聴できるような広い会場、例えば、現教育館なら2階講堂、教育センター講堂等で開くこと
- 3 傍聴者へ採択資料、最低限でも小学校から調査研究報告書の内容を集計した表と調査専門委員会報告書を配付すること

- 4 教科書展示会で投函された市民の意見・感想を、採択に当たって尊重するとともに、他の採択資料同様に、西庁舎情報センターで、氏名を除いて、常時公開すること

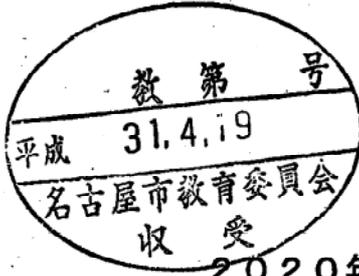
- 5 調査専門委員は、設置基準に則り、小学校勤務の教員から選任すること

2019年4月19日

名古屋市教育委員会
教育長 鈴木 誠二 様

子どもたちに「戦争を肯定する教科書」を渡さない市民の会
(愛知 教科書市民の会)

共同代表 榊 達雄



TEL [REDACTED]

2020年度用小学校教科用図書採択事務に関する請願書

職務へのご精勤、ご苦労様です。

さて、貴職による来年度用の小学校教科書の採択事務について、下記のとおり請願するとともに、貴職会議での口頭陳述の機会を要求いたします。

1 請願趣旨

2017・18年度の小・中学校「道徳科教科書」の採択経緯から、問題点を洗い出し、本年度の小学校用教科書のよりよい採択のために、採択事務に関する改善を求めます。

2017・18年度の問題点

- ① 「道徳科教科書」では、教科書見本本展示会場での調査研究の時間が短かく(中学校で30分のみ)の学校も)、また、基本的に全員が担当する教科となったはずなのに、限られた一部の教員しか展示会に参加できませんでした。
- ② 中学校用「道徳科教科書」の採択会議は、初めて教育館で、パーティションをとった大研修室で開かれ、傍聴人数も40名とされたが、それでもなお、31人の市民が抽選に漏れました。
- ③ せっかく傍聴できても、事務局の多岐にわたる長々しい説明をただ聞いているのは苦痛でした。
- ④ 採択資料の4分の1の重みをもつと市教委自身が位置付けながら、見本本展示会場で投函された市民の意見・感想が全面非公開とされるようになりました。法が努力義務とする採択資料の公開、「開かれた採択」に逆行するものです。
- ⑤ 中学校用「道徳科教科書」の調査専門委員会委員は、全員が小学校に在勤する者でした。同委員会設置基準に反することは明白です。

2 請願内容

- ① 小学校教員全員に、教科書展示会場で見本本を十分に調査研究できる時間を保障してください。
- ② 教科書採択会議の傍聴者制限を廃止し、希望者が全員傍聴できるような広い会場、例えば、現教育館なら2階講堂、教育センター講堂等で開いてください。
- ③ 傍聴者へ採択資料、最低限でも小学校からの調査研究報告書の内容を集計した表と調査専門委員会報告書を配付してください。
- ④ 教科書展示会で投函された市民の意見・感想を、採択に当たって尊重するとともに、他の採択資料同様に、西庁舎情報センターで、氏名を除いて、常時公開してください。
- ⑤ 調査専門委員は、設置基準に則り、小学校勤務の教員から選任してください。

以上